

## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 銚子丸

 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀地速男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 大塚健一

TEL 043-350-1266

四半期報告書提出予定日 平成23年9月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の業績(平成23年5月16日～平成23年8月15日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	4,350	△2.7	136	△64.4	140	△64.8	51	△71.8
23年5月期第1四半期	4,469	12.6	382	69.3	399	74.8	181	45.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	17.65	—
23年5月期第1四半期	62.50	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年5月期第1四半期	7,267	—	3,965	—	54.6	1,366.01	—	
23年5月期	7,162	—	3,993	—	55.7	1,375.36	—	

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 3,965百万円 23年5月期 3,993百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年5月16日～平成24年5月15日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,061	4.5	437	△18.7	461	△17.7	241	△9.5	83.20
通期	19,033	9.4	1,129	3.4	1,164	3.3	628	8.0	216.47

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	2,903,600 株	23年5月期	2,903,600 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	273 株	23年5月期	184 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	2,903,327 株	23年5月期1Q	2,903,498 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、欧州やアメリカの経済不安等により円高傾向は収まらず、企業収益に影響を及ぼす恐れがあり、また先の東日本大震災及び福島第一原発の事故による被災地における直接的な被害や、いわゆる自粛ムードによる消費低迷に加え、震災復興のための財政負担の増加懸念などにより、経済情勢の先行きに対する不透明感が高まっております。

外食産業におきましては、雇用・所得環境の不安を抱える消費者の生活防衛意識は根強く外食を手控える傾向が続いており、業種業態を超えた価格競争の激化により経営環境は一層厳しい状況で推移いたしました。

このような状況において当社は、経営理念「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」の具現化に向けて、「良質な食材をより安く、よりおいしく」というメニュー開発や仕入ルートの新規開拓など「おいしい舞台」をさらに深化させるとともに、「親切・思いやり・誠実さ」のある接客サービスにより「おもてなしの舞台」を追求するなど、競合他社とは一線を画した商品・サービスの差別化に努め「すし銚子丸」ブランドの一層の強化を図りました。

店舗開発につきましては市場規模、ならびに顧客ニーズを勘案し、当第1四半期累計期間において南船橋店（平成23年8月）を新規に出店し、当第1四半期会計期間末の店舗数は77店舗となりました。

販売促進につきましては、「初夏の粋づくし」「鮮涼役者の競演」等、時節の旬の食材によるイベントの開催およびセットメニュー・サイドメニューの充実を図り、お客様の来店動機の高揚に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比92.1%にとどまり、売上高は43億50百万円（前年同期比2.7%減）となりました。売上高の減少、店舗改装による修繕費の増加などにより、営業利益は1億36百万円（同64.4%減）、経常利益1億40百万円（同64.8%減）、店舗に係る減損損失45百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は51百万円（同71.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1億4百万円増加し、72億67百万円（前事業年度末比1.5%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億11百万円増加し、42億12百万円（前事業年度末比2.7%増）となりました。増加の主な内訳は、現金及び預金の増加1億13百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、30億54百万円（前事業年度末比0.2%減）となりました。これは、当第1四半期累計期間において1店舗を新規出店したことにより店舗設備、敷金及び保証金の増加があった一方で、減価償却等による店舗設備の減少があったことによるであります。

#### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億31百万円増加し、33億1百万円（前事業年度末比4.1%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億28百万円増加し、26億16百万円（前事業年度末比5.1%増）となりました。増加の主な内訳は、納税資金として調達した短期借入金3億25百万円の増加、ならびに買掛金2億2百万円の減少、未払金1億87百万円の増加、未払法人税等2億33百万円の減少であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、6億84百万円（前事業年度末比0.5%増）となりました。

また純資産は、前事業年度末に比べ27百万円減少し、39億65百万円（前事業年度末比0.7%減）となりました。これは、当第1四半期累計期間の四半期純利益51百万円及び第34期期末配当金の支払78百万円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、売上高190億33百万円、営業利益11億29百万円、経常利益11億64百万円、当期純利益6億28百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第35期（平成23年5月16日から平成24年5月15日まで）の新規出店数は、通期で6店舗を計画しており、このうち2店舗は平成23年9月15日現在において出店済でございます。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全面の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,568,121	3,681,752
売掛金	4,612	2,605
原材料及び貯蔵品	212,943	186,295
預け金	105,435	154,236
その他	210,763	188,000
流動資産合計	4,101,877	4,212,890
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,954	1,082,210
その他(純額)	559,628	557,123
有形固定資産合計	1,653,582	1,639,334
無形固定資産		
投資その他の資産	20,924	25,105
敷金及び保証金	744,852	752,562
建設協力金	349,855	339,724
その他	292,840	298,673
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,386,470	1,389,882
固定資産合計	3,060,977	3,054,322
資産合計	7,162,855	7,267,213
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,022,086	819,800
短期借入金	150,000	475,000
未払金	759,952	947,794
未払法人税等	285,247	51,313
賞与引当金	65,600	41,400
株主優待引当金	25,688	20,337
その他	180,002	261,048
流動負債合計	2,488,577	2,616,695
固定負債		
資産除去債務	154,609	158,450
長期未払金	359,700	359,700
その他	166,834	166,406
固定負債合計	681,143	684,557
負債合計	3,169,721	3,301,252

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成23年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,441,087	3,413,947
自己株式	△636	△636
株主資本合計	3,993,231	3,966,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△97	△130
評価・換算差額等合計	△97	△130
純資産合計	3,993,133	3,965,960
負債純資産合計	7,162,855	7,267,213

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年8月15日)
売上高	4,469,995	4,350,783
売上原価	1,820,241	1,815,828
売上総利益	2,649,754	2,534,955
販売費及び一般管理費	2,267,203	2,398,903
営業利益	382,551	136,051
営業外収益		
受取利息	1,623	1,387
協賛金収入	12,896	2,023
その他	4,861	3,472
営業外収益合計	19,381	6,883
営業外費用		
支払利息	1,402	1,610
現金過不足	1,499	902
その他	15	35
営業外費用合計	2,917	2,547
経常利益	399,015	140,387
特別損失		
減損損失	—	45,901
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,763	—
特別損失合計	61,763	45,901
税引前四半期純利益	337,252	94,486
法人税等	155,776	43,237
四半期純利益	181,475	51,249

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。